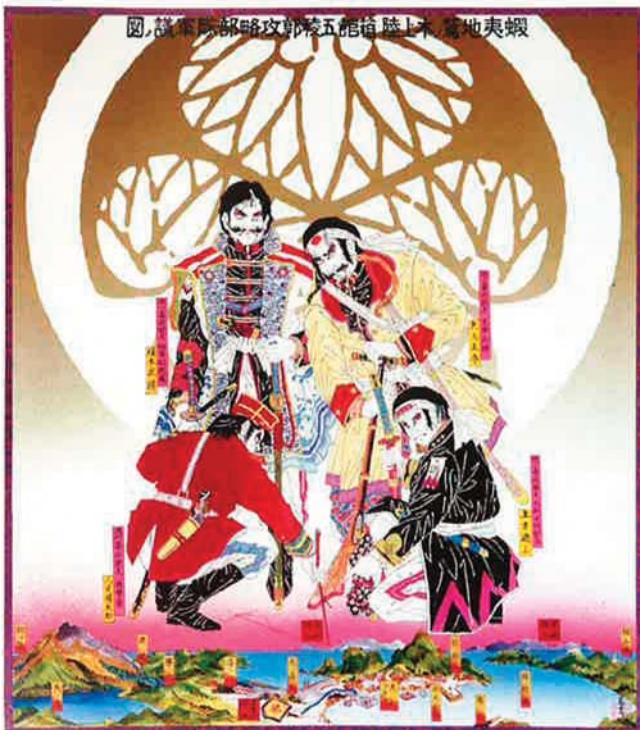


第47回

箱館五稜郭祭

函館市五稜郭塔の歴史と、その歴史を記念する祭り



開催日 5/21(土)~22(日)
2016年

主催：箱館五稜郭祭協賛会

後援：函館市・函館商工会議所、(一社)函館国際観光コンベンション協会
協力：陸上自衛隊第28普通科連隊、陸上自衛隊第11音楽隊

第47回

箱館五稜郭祭

5/21(土)

碑前祭

- ◆「中島三郎助父子最後之地」碑前 10時~
- ◆「碧血碑」前 10時50分~
- ◆「土方歳三最期之地」碑前 11時30分~
- ◆五稜郭タワー「箱館戦争供養塔」前 12時~

五稜郭タワーアトリウムの催事

- 箱館五稜郭祭記念式典 13時~
- ◆開会宣言 ◆主催者挨拶 ◆錦旗授与 ほか
- 土方歳三コンテスト全国大会 13時15分~

前夜祭

- ◆土方歳三コンテスト 18時~
優勝者紹介・歓迎レセプション

5/22(日)

維新行列・音楽パレード

- ◆中島町廉売通り 13時スタート
維新行列出発地点
- ◆千代台公園 音楽パレード出発地点
- ◆行啓通り 13時15分~14時30分
戦闘シーンのパフォーマンス
- ◆五稜郭公園特設舞台開城セレモニー など

開城セレモニー

- ◆五稜郭公園特設ステージ 15時ごろ~

※開催において多少の変更がある場合もございます。

◆日本の夜明け◆



ペリー提督

アメリカ東インド艦隊司令長官として、1853年(嘉永6年)M.C.ペリー提督率いるアメリカ艦隊の来航により、翌年、幕府は日米和親条約を締結。開港場となつた箱館に、幕府は箱館奉行を派遣しました。

箱館奉行の任務は開港場の統治や諸外国との対応、蝦夷地の開拓など多岐にわたり、特徴的な地形により防衛上の問題があるとされた箱館の防備強化も急がれました。奉行は、箱館山麓で港からも至近の位置にある奉行所(廈)への移転を計画。廈舎を防備する城塞の建設には西洋式の築城技術が採用され、1857年(安政4年)別史跡に指定され、幕末・明治

8年(明治元年)の江戸城明け渡し後、艦隊と旧幕残党を率いて箱館に渡り五稜郭を占拠。旧幕府臣による蝦夷地開拓を目指すが、新政府軍と戦いに敗れ降伏。後に開拓使出仕となり千島櫻太交換条約を締結した。1908年明治41年)、72歳にて没。

1836年(天保7年)江戸下谷生まれ。幕府海軍伝習所を経てオランダに留学。帰国後は幕府海軍副総裁に。

8月、マシュー・ペリー提督は軍艦4隻を率いて浦賀沖に来航。日本に開港を求める。内陸に向けられた備砲からは数多くの空砲が撃たれ、江戸市民を驚かせるとともに多くの見物客を集めた。翌1854年3月、決まつた箱館へは同年4月に来航した。1858年、64歳にて没。

アーヴィング(著)『太平記』

維新行列の見所

一 箱館開港事始め

維新行列の先頭は箱館奉行所の旗手。旗は天地を表す黒い二本の線と日の丸です。続いて、竹内下野守・保徳、堀織部正利熙、村垣淡路守正の初期箱館奉行、五稜郭の設計・監督者である箱館諸館諸術調所教授武田斐三郎成章、最後の箱館奉行杉浦兵庫頭誠、そして『箱館奉行所槍隊』です。

次いで、アメリカのペルリ提督および旗手、アメリカ海軍儀仗兵。さらにロシア公使フチャーチン海軍中将と旗手、ロシア海軍儀仗兵。イギリス公使バークスと旗手、イギリス海軍儀仗兵。フランス公使バーツュと旗手、フランス海軍儀仗兵。そしてオランダ商館長クルティウスと旗手、オランダ海軍儀仗兵と統きます。

なお、実際に箱館に来航した人物はペルリ提督とフチャーチン中将だけですが、以上の5カ国が、いち早く徳川幕府と修好通商条約、いわゆる「安政の五カ国条約」の締結に成功し、箱館は国際貿易港として開港されることとなります。

開港事始めの最後を飾るのは軍楽隊(五稜郭鼓隊)です。

二 榎本政権誕生

榎本軍の先頭は星尚太郎が指揮する赤服金モールの『仙台額兵隊』。英國式訓練を受けた部隊です。次に登場するのは『伝習歩兵隊』。仏軍より派遣された教官團によって訓練された幕府正規軍です。

榎本軍の行列中央、三ツ葉葵の旗を先頭に、總裁榎本武揚、副總裁松平太郎、海軍奉行荒井郁之助の閣僚が続きます。次に登場するのは春日左衛門率いる『幕府陸軍隊』です。百六十名が蝦夷地へ渡り、各地で奮戦します。次いで宮古湾海戦の斬込姿を再現した『海軍伝習士官隊』が行進します。

次に登場する○印の浅葱色陣羽織の一隊は『会津遊撃隊』。隊長諫訪常吉以下七〇名は、会津の降伏を潔しとせず、脱藩して榎本軍に合流。隊長の諫訪は矢不來の戦いで負傷、箱館病院で没します。

本武揚、副總裁松平太郎、海軍奉行荒井郁之助の閣僚が続きます。次に登場するのは春日左衛門率いる『幕府陸軍隊』です。百六十名が蝦夷地へ渡り、各地で奮戦します。次いで宮古湾海戦の斬込姿を再現した『海軍伝習士官隊』が行進します。

次に登場する○印の浅葱色陣羽織の一隊は『会津遊撃隊』。隊長諫訪常吉以下七〇名は、会津の降伏を潔しとせず、脱藩して榎本軍に合流。隊長の諫訪は矢不來の戦いで負傷、箱館病院で没します。

次は中島町にその名を残す『千代ヶ岡警備中島隊』。

隊長中島三郎助は長崎海軍伝習所一期生で榎本の先輩。浦賀奉行所与力時代、ヘルリに応接したその人です。

そして、誠の旗を先頭に颶夷と登場するのは『新選組』。先頭の袖無陣羽織姿は陸軍奉行並土方歳三を警護する部隊であった『蝦夷新選組』で、後ろの白山形だんだら染めの羽織姿は京都時代の新選組です。

三 征討軍(官軍)上陸

いよいよ明治新政府の征討軍の登場。先頭を切るのは官軍のシンボル「錦の御旗」を奉戴する『錦旗護衛隊』です。

征討第一軍を率いるのは海陸軍參謀、長州藩山田市之丞。薩長兩藩の士官がそれに続きます。黒地に赤線軍服は長州藩、鉄紺に黒線が薩摩藩です。

続いて武田菱の家紋がついた黒陣笠に黒羽織の一隊、官軍尖兵の『松前正義隊』が登場します。佐幕派の松前藩政に不満を持っていた、下国東一郎、三上超順ら少壯武士団を母体とする松前正義隊。一八六八年八月一日にクーデターに成功し、藩論を一挙に勤王に統一。以来官軍蝦夷進攻の尖兵として活躍しました。

次いで『箱館府兵隊』が登場。明治元年閏四月、箱館府知事として赴任した清水谷公考は、箱館奉行より五稜郭を接收。しかし兵力がないため現地募兵したのが箱館府兵隊です。清水谷府知事と、彼を護衛する『府知事御親兵』が統いて登場。御親兵とは明治新政府直属の軍隊で、後の近代的軍隊の礎となるものです。

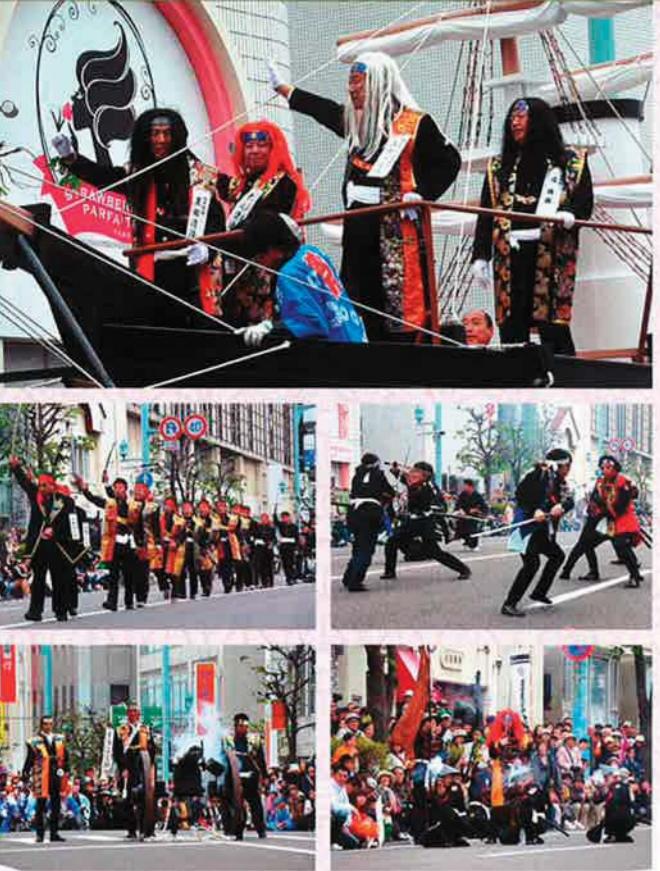
さらに軍監有地靜馬が率いる『津輕藩士官隊』が登場。勇壮果敢な武運を誇り、戦功第一と評される働きを残しました。

征討軍の中央には、陸軍參謀黒田了介、海軍參謀増田虎之助、軍監前田雅樂、軍監田島敬歲等の幕僚に諸藩の將が続きます。

官軍の指揮官が頭に被っているのは「シャグマ」と呼ばれ、赤・黒・白の各色があり、戊辰戦争期特有の官軍の装束です。

なお、当時の軍服は幕府軍も官軍も似たようなもの。その識別のため、官軍側は二の腕に錦の印布『錦巾(きんきれ)』をつけていました。

四 關陽と黒船



箱館五稜郭祭憲章

碧碑(へっつい)は、北海道函館市函館山に明治8年(1875年)5月に建立された戊辰戦争、特に箱館戦争における旧幕府軍の戦死者を追悼する慰靈碑である。土方歳三や中島三郎助などをはじめとする約800人の戦死者を弔ふならん事を祈り舉行するものであります。

箱館五稜郭祭は、安政元年(一八五四年)日米和親条約に基づき、ペルリが其艦隊を率いて箱館に来航してより、明治二年五月(一八六九年)箱館戦争終結迄を題材として維新行列に再現した。其間郷土函館の基を築いた先人の遺徳を偲び、併せて戊辰、己巳の変に戦没した無名戦士の御魂の安らかならん事を祈り舉行するものであります。

